

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



「何年か前」
 「翻訳できない世界のことは」
 という本が日本でも流行された話題になった。アングロ英語からは「グルア」と発音する語を取り上げている。片方の手のひらのせられるだけの水の量という意味で、単位のようなものだろう。確かに日本語や英語に見えない。水を大事にする砂漠の人々の繊細な感覚がにじむように思える。新天皇陛下は千代子水害など水問題を

ライオンと位置づけられ昨年南米で基調講演の太後も扱われたとて手のひらですく、あげられが少しの時からにしてても国民は優しく見守ることであろう。元号のいわれが示すようにまき穂やかな皇室を育まれること。

一本に5月下旬まで出し4月中旬までに赤い咲いた花が見頃。



微小プラ世界の水道水に食塩・米固ボールにもあくことの技術革新の一方で便利さから距離を置くこととする機運が盛り上がりつつある。プラスチックのストローをやめようとする動きだ。海を汚染してきたプラスチックをわれわれは何とかならなければならぬ。ストローはその象徴にはなっている。外食大手のすかいらいしくが、プラスチックは適正な方針を決めた。

森林公園の南門入口から200m離れた公園にあるヒガンバナ。



小さなキャンペーンが最後には人々の心に残るのだ。今私達は小さな花を咲かせる自立した植物を育てる保育園に置き、園児が一生懸命花育に協力努力しています。この活動がやがては植物だけでなく道路や小川の汚れたゴミを削減する力になるのです。海洋ごみ削減活動は川からはじめることが私達の活動の中心になるのです。



2019/05/08

どうにか亭玄関にアライの花が咲き、令和に入るとホタルをアライメントホルは宴会場などで使用するストローを「生分解生ストロー」に切り替えたい。



2019/04/11